



# 全市民、友と友、手を取り合い、阿賀野市活性!

阿賀野市産業別人口(15歳以上)の推移を確認しよう

年次	第1次産業	第2次産業	第3次産業	他
平成22年	9.9%	33.8%	53.8%	2.5%
総数	2,240人 (9.9%) (農業2,226人)	4,566人 (20.2%)	3,504人 (15.5%)	1,853人 (8.2%)
	農・林・漁業	製造業	建築関連業	卸売・小売業
				医療・福祉
				運輸・郵便業
				宿泊・飲食店
				他サービス業
				教育・金融 公務・その他
				分類不能
	※兼業を含む農業従事者 8,111人 35.9%			
平成27年	9.4%	33.3%	54.5%	2.8%
総数	2,106人 (9.4%) (農業2,083人)	4,484人 (20.1%)	3,226人 (14.4%)	1,889人 (8.5%)
	農・林・漁業	製造業	建築関連業	卸売・小売業
				医療・福祉
				運輸・郵便業
				宿泊・飲食店
				他サービス業
				教育・金融 公務・その他
				分類不能

資料: 国勢調査

ここからやごと阿賀野市の人の関わりを持つ事ができ、阿賀野市には豊かな自然だけでなく歴史ある文化、その文化を重んじて生活する人々の魅力に

「家族を地域で守りたい」という気持ち芽生え阿賀野市で起業することにしました。

10年前に初めて阿賀野の地に来て感じたこと。それは豊かな自然の魅力から子育ての環境に優れているという点にしか気づけていませんでした。そのため働き先は新潟市内、阿賀野市の人の関わりはあまりない生活でした。

## 阿賀野の魅力を感じて



阿賀野屋 代表 土井 一心太さん (神奈川県出身・阿賀野市内で鶏卵業を創業)

しかし3・11震災を機に自分ひとりでは家族を守り切れないうち、家族を地域で守りたいという気持ち芽生え阿賀野市で起業することにしました。

目指すは、日本の伝統・商道「売り手よし・買い手よし・世間よし」の「三方よし」が地域活性の原点だと思います。(編集部)

新潟県が推奨する、安田瓦や認定を受けた県産スギ材の性能・品質は科学的データにより証明されています。

ところが、お金を支払う市民の皆さんは、直接瓦工事や木材を注文する訳ではありません。これらの産業は家づくりに付随するものであり、その仕様によって盛衰が左右されます。

今の住宅市場は、ワンパックで提供されるシステムであり、その中の詳細や価格は分かりません。家づくりには20数職種が関連し、地域経済に莫大な影響を及ぼします。そのためにも、住宅関連産業の技術・技能・価値・魅力を地域が一体となつて情報発信すべきです。

## 伝統産業の活性を目指し、地域が一体となって!!

180余年の伝統を受け継いできた安田瓦。日本最北端の産地として全国でも有名です。

それに伴い、阿賀野市では瓦屋根工事に関連する職種の多いのも特性です。が、近年の家づくりの変化と、瓦は地震に弱いとの風評の影響もあり、需要は低迷しています。産地である安田・庵地地区の皆さんは、再活性を目指し一体と



なって活動しています。政策として、家づくりに安田瓦を使った場合、新潟県では12万円~20万円。加えて阿賀野市では上限10万円の補助金制度で支援しています。

## 住宅産業に関連する地域の技術・技能を情報発信



## 阿賀野市が元気になる、提案・意見をお寄せ下さい。

次回テーマは「公共事業」です。特定の思想・主義の主張や、他者への非難や批判ではなく、あくまでも建設的な内容に限ります。文字数は400字以内です。

### ほかりけんじ事務所

〒959-2221 阿賀野市保田 737-2  
TEL:68-5441 FAX:68-5515  
Mall:kenji@hokaken.jp